

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和2年度)

作成日 令和3年2月24日
 最終更新日 令和3年2月24日

記載事項	更新の有無	記載欄
情報基準日		令和3年2月1日
国立大学法人名		国立大学法人大阪大学
法人の長の氏名		西尾 章治郎
問い合わせ先		大阪大学総務部総務課企画調整係 (06-6879-7178) souki-soumu-kikaku@office.osaka-u.ac.jp
URL		https://www.osaka-u.ac.jp/

【本報告書に関する経営協議会及び監事等の確認状況】

記載事項	更新の有無	記載欄
経営協議会による確認		<p>本法人は国立大学法人ガバナンス・コードのすべての原則について適合していることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の取組については、確実に実施されている。評価・検証と改善のサイクルをさらに機能させ、過去に発生したコンプライアンス事案の再発を防止できるようにしていくことが重要であるので、引き続き、更なるガバナンス強化に取り組まれることを期待する。 ・また今後、ガバナンス・コードをドライビング・フォースとして機能させていくには、各原則について不断の改善の観点から、毎年取組の棚卸しをしていくことが肝要である。 ・総長選考会議において採決結果が可否同数になった場合の取り扱いについて整理が必要である。 ・経営人材育成については、更なる推進を期待する。 ・教員以外の職員の新たなキャリアパス制度は先進的取組であるため、実績を蓄えて学外にも示していくことを期待する。

<p>監事による確認</p>		<p>本法人は国立大学法人ガバナンス・コードのすべての原則について適合していることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本原則 1 に関しては、指定国立大学法人としてのビジョンの策定や重点施策を推進・検証する体制の構築と強化に取り組んでおり、また、戦略的な部局統合会議（戦略会議）や社会・産業界との共創を実現する全学的体制を整備し、必要な人材の確保・育成に尽力している。 ・基本原則 2 に関しては、総長が本法人を取り巻く多様なステークホルダーの意見や期待を踏まえ、リーダーシップを発揮し、また、ビジョン実現のための執行体制の強化にも取り組んでいる。経営を補佐する人材や多様な専門人材の育成にも着手しており、また、内部統制・コンプライアンスの推進体制を構築したうえで、適切な運用をはかっている。 ・基本原則 3 に関しては、経営協議会、教育研究評議会や総長選考会議は審議の充実や透明性の確保がはかられたうえで適切に行われており、また、監事について、現状では必要とされる監事監査体制が確保されている。 ・基本原則 4 に関しては、大学を取り巻く多様なステークホルダーに幅広い情報を分かりやすく提供するとともに、財務レポートや環境報告書等により、適宜、必要な情報発信に取り組んでいる。また、大阪大学憲章をはじめとする基本理念等を定め、内部統制システムを構築・運用している。 ・今後は、総長のビジョンをより確実に実現するため、総長を補佐する人材として全学的な視点から法人経営を支えることができる資質を持った人材を育成すること、そして全学の戦略的な資源配分に取り組むこと、さらに経営の意思がよりよく現場に浸透し、大阪大学の特徴を生かした自律的な経営を運営する仕組みと体制づくりに取り組むことを期待する。 <p>また、目的や対象をより明確にした広報活動の展開及び教育・研究活動などのコストの見える化をはじめとする大学経営全般にわたる可視化や、様々な経営課題に対する透明性の高い対応と適切かつ分かりやすい公表により、さらに大阪大学ならではの優れた活動等を発信していくことを期待する。</p> <p>そして社会の公器として高い秩序を実現するルールの拡充と徹底を図ることにより、自立したサステナブルな大学経営の実現を期待したい。</p>
<p>その他の方法による確認</p>		